



# 県連だより

第89号  
令和3年12月5日  
発行  
神奈川県FD連盟



## 4級公認フォークダンススクール 中止で想うこと

日本フォークダンス連盟神奈川県支部  
支部長 岩原 富雄

並木前支部長より大役を引き継ぎさせていただきました支部長の岩原富雄です。コロナ感染拡大で長い期間の例会休会、初心者教室も開催できず新しい仲間との出会いもなし、気持ちが落ち込みダンス離れる人も多く出ている等会員の悲痛な話も多く聞かれます。そんな中FDの4級スクール開校の案内をいただき、是非4級スクール受講者の皆さんとお会いし私の考えを交え元気付けようと思っていましたが、現状の環境を鑑み中止となったこと非常に残念に思います。

先に述べました会員ダンサーの暗い気持ちを払拭できるのは大きな心で包んでくれる指導者の皆さんです！これは5部門共変わらないことだと感じています。

もし予定通りスクールが開校されていたならばお話ししようと思っていたことをこの紙面をお借りし述べたいと思います。

SD・RD・CWD<sup>\*注</sup>では「実技指導者ライセンス制度」をここ数年詰めてきており、ようやく実行に移せる段階までこぎつけました。指導者の資質向上を目指すものです。私が思うに指導者のタイプは3通りかなと考えます。

- ①みんなの先頭にたってグイグイ引っ張っていくタイプ
- ②経験を積ませようとみんなの後方で見守るタイプ
- ③視覚障害者のランナーの隣でロープ越しに励ますタイプ

…どれも大切な役割を担っている指導者です、今後の普及方策にはとても大切な人材になってくれることを信じ期待していきたいと思います。

私は常々個人的には③のような指導者になりたいなと思っています（中々難しいですが）。

コロナ感染がなかなか落ち着きを見せませんが、近い将来また必ず楽しい踊りをみんなで出来る日が来ます、「あまり干渉しないが決して手を離さない！」を忘れず活動していきます、今後ご理解ご協力ください。

[注：CWD＝カントリー・ウエスタン・ダンス]



## 私のアウトドア・ボランティア活動

監事長 中村 憲次

私のアウトドアとの関りは約47～8年前、フォークダンスが縁で東京都品川区のレクリエーション委員に指名されたことに始まる。ゲームやFD指導の他に、キャンプやオリエンテーリング、ゲートボールやペタンク等のニュースポーツの指導なども行ってきた。

特にキャンプは品川区で新しいキャンプ場を作るとのことで、軽井沢の山の中で木を切り倒し、キャンプサイトを切り開くところから始めた。月に2～3回休みの度にボランティア50名程度バスを連ねて軽井沢に向かい、テントサイトや炊事場作りなどを行った。

完成してからも夏の間はキャンプ場の管理者として、ファイヤーやゲームの指導なども行った。このキャンプ場は近隣の別荘地や宅地開発が進み、3年ほどで閉鎖となった。閉鎖後は同じ軽井沢の国設キャンプ場を品川区で借り、ここでも2～3年ボランティアとして携わった。

S54年小田原に転勤となり、しばらくアウトドアと離れていたが、30年前、これもフォークダンスが縁で小田原市の青少年指導員となり、子供たちとのキャンプが再開され現在まで続いている。青少年指導員（現在は青少年育成推進員）の活動はキャンプだけではなく、いろいろな部会がある中、私は主として少年リーダー育成関係に所属し、ジュニアリーダー（中高生）、シニアリーダー（大学生～30代）と協力し、キャンプをメインとした育成を担当してきた。

10年前からは同じ青少年課の事業で、小田原自然楽校（アウトドア指導者の集まり）にもかわり、年10回程のアウトドア、安全管理などの研修を行い、実践の場として、世代を超えた体験学習（あれこれin〇〇）、小学校の野外体験学習の指導なども行っている。また、県の野外体験施設（足柄ふれあいの村）のボランティアとしても年2～3回活動している。



## 2021年度 第23回 スコティッシュ in 神奈川



11月23日（火・祝）に横浜市平沼記念体育館において、スコティッシュ in 神奈川が申し込み者69名、役員・講師・スタッフ19名、合わせて88名の参加で開催されました。

午後からの短い時間でしたが、講習曲2曲とパーティ曲が12曲で、盛りだくさんの内容でした。





## 「夏期フォークダンス指導者講習会伝達講習会」に参加して

川崎市フォークダンス普及会 吉濱 富士久

2021年10月12日、当初の予定から約2週間遅れで会場も茅ヶ崎市総合体育館に変更され、夏期FD指導者講習会伝達講習会が開催されました。

私は、講習曲7曲の中で特に「アリタップタップ」に関心をもって参加しました。その理由は、事前に頂いたDVDを拝見することが出来たので、私が会に持ち帰り指導・伝達するならこの踊りだと思っていたからです。多少不安も有りましたが、幸い指導して頂いた武井講師の元気な声と分かりやすい説明のお蔭でその不安を払拭する事が出来ました。その他の踊りもそれぞれの講師の方々から上手に教えて頂き、受講後は資料・DVDを再確認すれば何とか踊れる様な気がしています。

私が今回の講習会で感じた事は、大きな会場ではモデルを複数配置された方が講師及び受講生の双方にとって都合が良いのではないかと。また、開催が延期になってしまった事で、事前にDVD等が手に入り当日は心に余裕が生まれたのはラッキーだったので、今後も事前に入手出来ないか。そして、新しい踊りが出る時はこの様な指導者講習会を受けておくと安心を頂けるという事です。

非常事態宣言が解除されたとは言え予断を許さない中、主催者の皆様のご尽力により無事に講習を受けられ、有意義な時間を過ごすことが出来た事に感謝です。今後は、一日も早くコロナ禍以前に行われていた本来のスタイルで指導者講習会等が開催される事を心より願っています。



(公社) 日本フォークダンス連盟主催

「民族舞踊フェスティバル2nd」開催決定

期日：2022年7月1日(金)～4日(月)

会場：カメイアリーナ仙台



仙台でお会い  
しましょう!



## ●●●「県連だより」のあゆみ ●●●

事務局 三村 孝子

昭和58年5月に「県連だより」が創刊されました。初版はガリ版ずりのA4サイズ2枚、1面は「創刊にあたって」と会長の植村恭作氏が「記録にまさる記憶なし」との気持ちを述べられています。県連役員・フォークダンス委員会役員の紹介があり、フォークダンス委員長高橋慎一氏が「創刊によせて」の記事の中で「発行の意義としては、組織の確立と情報交換・行事のお知らせと反省等、連盟の発展と普及に大いに力になると思います」と述べられています。同年10月の第2号から紙面はB5版での発行となり、平成元年ぐらまではタイプライターで作成され、その後ワープロに変わりました。白黒の印刷で写真はとも見づらいのですが、いろんなイラストが紙面を飾って、とてもかわいらしい県連だよりとなっています。白黒印刷が続いている中、平成20年5月発行の第62号は「神奈川県FD連盟創立40周年」の特集号としてカラー印刷され、「FD大会」「海外研修ドイツ・オーストリアの旅」「マイクスナー先生のオーストリア講習会」「温泉とFDの旅」「国内研修沖縄の旅」等、多くの行事のカラー写真がいっぱい載っていて、とても楽しく思い出される特集号となっています。

平成22年12月の第68号からカラー印刷となり、平成28年7月発行の第79号からさらにグレードアップして、A4面のサイズに拡大してさらに見やすくなりました。令和2年コロナ感染拡大によりこの年の全事業は見送りとなりましたので、12月予定の第88号は発行できなくなりましたが、号外号として会長の小鮎吉子氏が「神奈川県体育功労賞」理事長の溝畑百合子氏が神奈川県レクリエーション協会の「令和2年度功労者表彰」を受賞され、またコロナ禍で各サークルがどのように例会を行っておられるかアンケートを取り発行しました。

これからも県連の歴史の記録としての「県連だより」を頑張って続けていきたいと思っております。



発行責任者：神奈川県フォークダンス連盟 理事長 溝畑 百合子

連盟ホームページ：<http://www.cityfujisawa.ne.jp/~fd.fed.k/>

E-mail：[fd.fed.k@cityfujisawa.ne.jp](mailto:fd.fed.k@cityfujisawa.ne.jp)

### 編集後記



「新型コロナウイルス感染症」という未知の病が広まってから2年経ちました。今は第5波がおさまっていますが、コロナ禍の不安は大きいものがあります。

それでも、いつも通りの季節は巡ってきます。街には大きなクリスマスツリーが飾られ、イルミネーションが輝いています。制約があるものの「ウイズ・コロナ」で仲間と会える機会も増えてきました。

ささやかな喜びを大切に、大きな喜びが訪れることを心待ちにしています。

来年は良い年になります様に願って、心よりお祈りいたしております。

県連だより編集者一同